

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	京都造形芸術大学	整理番号	1-5-055
応募テーマ	主として大学と地域・社会との連携の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	多地域・多世代の交流による教育プログラム		
申請単位	学部単位		
申請担当者	上村 博		
<p>(取組の概要)</p> <p>本取組は、生涯学習の新しい学びの場を、様々な地域での教員と学生による共同の制作・研究によって作りだそうとするものである。近年、生涯学習では資格や学歴以上に自己の潜在的な創造性を発揮する場が求められている。京都造形芸術大学の通信教育は、その社会的要請に応じて、全国的なフィールドワークを展開し、地域固有の環境を活かした実践的な授業を行ってきた。これは単なる地域研究にとどまらず、地域間、世代間の交流そのものを貴重な学習機会として育てていくものである。様々な背景を持つ社会人学生、地域住民、通学課程の若い学生、教職員が、互いの異質性を認識しつつ、共通課題に取り組む態勢をとることは、学生間の自発的な学習活動や文化活動を促し、さらには大学改革の原動力ともなっている。本取組は、通学課程もあわせた大学全体の授業を根本から見直し、地域社会に開いていくものであり、また地域での新しい文化共同体の形成に寄与するものともなろう。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、京都造形芸術大学通信教育部の教育目的・教育方針である各地域に根ざしたスクーリング授業を通して芸術運動の新しい展開を図ろうとする特色ある取組です。全専任教員が通信教育課程のプログラムに参加するなど、全学的な取組であることが認められ、この5年間でもスクーリング授業の開講数が飛躍的に増加しており、取組の実績から見ても、学生の自己表現の実現、地域文化の活性化等の教育目標を達成するなど大きな成果を上げています。生涯学習の場としての大学教育のあり方において新しい優れた事例であり、通信教育課程のみならず広く他の大学の参考となる優れた取組であると認めることができます。</p>			